



保護者の皆様

一人一台端末が整備され、学校における学びの可能性を広げることにつながっています。その一方で、児童が夜遅くまで一人一台端末を使用することによる問題が全国的に散見されます。そのことを踏まえ、この度、お子様がお使いの一人一台端末 iPad につきまして、デジタルデバイスとの健全な付き合い方を学ぶ一助として、Apple 社が提供する「スクリーンタイム」機能を活用いたしますのでお知らせいたします。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. スクリーンタイムとは

スクリーンタイムは、iPad や iPhone といった Apple 製品に搭載されている機能で、デバイスの使用状況を把握し、利用時間やコンテンツへのアクセスを管理できるツールです。お子様が iPad を安全に、そして適切な時間で利用できるよう、学校で一括して設定を管理いたします。

2. スクリーンタイムを使って設定する内容

① 休止時間（デバイスの利用を制限する時間帯の設定）

毎日 21:00 から翌朝 7:00 まで、一部の指定したアプリ以外、iPad が利用できなくなります。

- 生活習慣の確立：夜間の利用制限により、児童の規則正しい生活リズムの形成を促します。
- 時間の確保：十分な睡眠時間を確保し、翌日の学習に集中できる状態を整えます。
- トラブルの未然防止：利用時間帯を制限することで、オンライン上でのトラブル巻き込まれるリスクを低減します。

② 常に許可（休止時間中も利用できるアプリの指定）

「休止時間」中でも、緊急連絡に備え、学校指定の連絡アプリなど、特定のアプリのみを常に利用可能とします。学年ごとに検討し、利用を許可するアプリがあれば連絡いたします。

3. パスコードの設定と管理

スクリーンタイムの設定変更を防ぐため、パスコードを設定し、学校で一括管理いたします。これにより、児童が誤って設定を変更したり、制限を解除したりすることを防ぎ、安定した運用を目指します。

4. 保護者の皆様へのお願い

スクリーンタイムは、お子様がデジタルデバイスと適切に向き合い、健全な成長を促すための有効なツールです。学校での設定管理に加え、ご家庭でのルール作りや、お子様との対話が何よりも重要です。スクリーンタイムの活用を通じて、ぜひお子様と一緒に iPad の利用について話し合い、デジタルデバイスの利便性と、その利用に伴う責任の両方を理解する機会としていただければ幸いです。